

- 氏名 : 山崎 敦朗
- 会員番号 : PN-0242
- 専門分野 : 高分子科学、フィルム成形加工、化学工学
- 保有資格 : 高圧ガス製造保安責任者(甲種化学)、
危険物取扱者(甲種)、日商簿記 2 級、統計検定準 1 級 等



FE 試験受験 : 2023 年 1 月

PE 試験受験 : 2023 年 11 月

FE 試験、PE 試験ともに JPEC を通じて申し込みを行い、大阪のテストセンターにて CBT で受験しました。JPEC に申し込んでから受験可能の連絡が郵送で送られてくるまで 1 か月程度要する場合があります。また受験できるテストセンターは大阪か東京に限られて枠が少なく、更に**試験が土日に実施される週は限られているため**、いつ頃までに受験すると決めたら**早めに受験手続を進めてしまうこと**をおすすめします。自分のケースだと平日に仕事を休んで行けるほど業務の余裕がなかったり、子どもがまだ小さいために家庭を離れて何度も土日の時間を割く余裕はなかったため、確実に受験できる日の設定、合格するのに十分かつ最低限の受験準備期間を取った受験スケジュールの設定に気を遣いました（実際 FE 試験の方は海外出張で受験予定日に前日移動する必要が出てきてしまい、手数料を支払って 2 週間ほど試験日を前倒しに変更しました）。FE 試験は夜行バスで移動し、早朝着いて喫茶店で一息してから受験という強行スケジュールでしたが、PE 試験は開始が 8:00 と朝早かったため大阪に前泊して少し余裕を持って臨みました。

試験準備に関しては、NECCS サイトよりダウンロードできるハンドブックを読んで必要な情報を参照できるようにしたり、ハンドブックを読んでわからない所について別途専門書で知識を補強しておくこと、同じくサイトより購入できる練習問題を繰り返し解いておくことが最も大事だと思います。試験問題は基本的にハンドブックに書いてある範囲から出題されるので、**まずは自分が受験する部門のハンドブックを眺めてみてから、不足している知識を補強していくための学習計画を立てるのが良いと思います**(自分の場合は準備で FE、PE 試験にそれぞれ半年の計画で進めました)。その他 FE CHEMICAL PRACTICE PROBLEMS(PPI) や PE Chemical Practice Exam(PPI)を購入して一通り問題を見ましたが、こちらの内容は実際の試験問題ではあまり扱わない所を重点的に書いてあったりと、本試験とは少し内容に乖離がありました。Chemical 部門に限った話をすると、並行して勉強していた高圧ガス製造保安責任者の試験内容は、PE 試験の内容と重複する部分も多く役立ちました。また業務でプラントエンジニアリングにあまり携わることがなく、海外の化学工学課程で学ぶ内容もよくわからなかったため、英語圏の学部生が読む教科書 (Gavin Towler, Ray Sinnott 著 ; Chemical Engineering Design : Principle Practice and Economics of Plant and Process Design 3rd edition (ButterWorth-Heinemann,2021)) を副読本として読んでハンドブックに書いてある内容の背景の理解に努めました。FE 試験は 120 問あり時間が足りないくらいでしたが、簡単な問題が多いため解ける問題を確実に解くことを意識しました。PE 試験は問題文が少し複雑で読解に苦労しましたが、内容自体は基本的なことが多く試験時間に 1 時間ほど余裕を持たせて一通り解くことが出来ました(いずれの試験も一回目の受験で合格)。引き続き PE 登録まで気を抜かず進めていきたいと思っています。